

第14回 フレッシュジュニア手取川大会 大会要綱

能美、白山、野々市市学童野球連盟

【大会運営規則】

- ①フレッシュジュニア手取川大会は、4年生以下で行われる大会である。
- ②本大会は、特別に5、6年生女子の大会選手登録を認める。(但しピッチャー、キャッチャーを除く。)
- ③試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らない。
- ④塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間21m 本投間 14m。
- ⑤低学年はボークを取らず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定(アウト)を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留める。又、ボークと盗塁が同時に起こった場合は、盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- ⑥本大会においては、振り逃げは適用しない。
- ⑦投手の投球回数は1日60球までとする。
- ⑧選手の熱中症対策として、大人の方2名ベンチ入りを認める。(私服でチーム帽子を着用の事。)

【予選リーグについて】

- ①グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- ②各グループリーグ予選で順位を決定し1位のチームのみが、決勝トーナメントに進出する。
- ③審判については、各チームより審判を要請し、各会場にて両チームで協議して決定する。
- ④グループリーグ予選の試合会場は、各グループリーグの責任チーム地で行うのが望ましい。
- ⑤グループリーグ予選では、勝敗を以下のように取り決める。
 - ・勝者は勝ち点3、引き分けは勝ち点1とし、勝ち点が多いチームが決勝進出とする。
 - ・勝ち点が同点の場合は、直接対決で勝ったチームを優先とし、それでも引き分けの場合は、
 - ①総失点数の少ない方を優位とする。
 - ②総失点数が同じ場合は総得点数の多い方を優位とする。
 - ③それでも同じ場合は、抽選とする。
- ⑥1イニングで打者が一巡した場合は攻撃を終了し、攻守交替をして次のイニングに移る。
- ⑦各グループ責任チームは予選試合結果を、期日までに主管支部事務局に報告する。

【決勝トーナメントについて】

- ①各グループリーグで予選1位になったチームによる決勝トーナメントを行う。
- ②決勝トーナメントについて、5回終了時同点の場合は、特別ルールを1回行い、勝敗を決める。
特別ルールで勝敗が決まらない場合は、「○」印、「×」印による抽選を行う。
(特別ルールは能美、白山、野々市市学童野球連盟大会要綱に従い行う。)
- ③得点差によるコールドゲームは、3回終了時点で10点差又は、4回終了時点で7点差とする。
これは、決勝戦でも同様に適用する。
- ④決勝トーナメントにおいては、打者一巡による攻守交代を適用しない。

【特別ルール（タイブレーク）】※決勝トーナメントに適用

- ・両チームとも無死とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の2人を2, 1塁に着かせるが、代走、代打を送っても良い。投手、野手を交代させても何ら差し支えない。ただし、一度出場した選手は出られない。
(石川県軟式野球連盟学童部規則による。)

【その他】

- ・抽選方法は、試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行ないます。審判は「○」印、「×」印の抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先行チームより交互に1枚ずつ選ばせる。選び終わったら集計し「○」印の多い方を勝ちとする。
注) 集計は選手の前では行わない。
- ・2024年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球(③学童部)に関する事項」並びに、開催年度ごとに主管する、能美、白山、野々市市学童野球連盟大会要綱に準じて行う。